

2013 年 7 月 2 日

各政党殿

子育て世代の父親に対する施策に関するアンケートのお願い

特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン

拝啓

盛夏の候、貴党ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、私たち「ファザーリング・ジャパン（以下FJ）」は、“父親の育児に関する支援活動”を全国的に行っている日本で唯一のNPO法人です（末尾に法人紹介を記載しましたのでご参照下さい）。

この度、私どもは参議院議員選挙において、各党が「子育て世代の父親」に対してどのような政策をお考えになっておられるかをお尋ねし、また有権者に対して投票を決める参考資料として提供するために、アンケートを行うこととなりました。皆様方にはご多忙中のところ誠に恐縮ですが、当該アンケートにご回答いただきたくよろしくお願い致します。

尚、頂いたアンケート回答につきましては、有権者にも情報を提供するために、ファザーリング・ジャパン及びその連携先団体のホームページ上での公開や、マスコミ等への配布を予定しておりますので何卒ご了承下さい。

アンケートにつきましては、7月8日までにご回答の上ご返信いただければ幸甚です。

敬具

アンケート実施団体：NPO法人ファザーリング・ジャパン

連絡先：代表 吉田 大樹 Tel 03-6902-1694 Fax 03-6902-1695 Email info@fathering.jp

アンケートご返送先：〒113-0021 文京区本駒込2-1-18-301

※同封の「返送用封筒」をご使用ください

子育て世代の父親に関する政党アンケート

貴党名 : _____

連絡先 : _____ (メールや電話番号とご担当者名)

(所定の回答欄ではスペースが足りない場合は、別紙にご記入いただき回答をお送り下さい)

(課題1) 男性の育児休業取得率について

少子高齢社会で労働人口が減少している日本では女性活躍を成長戦略の1つとして推進することは評価できますが、その実現には男性の育児・家事への参画が不可欠です。しかし、男性の育児休業取得率は2.63% (平成23年度) に低迷しており、2020年までの目標値13%と比べ大きく乖離しています。

FJではその実現に向けて、超党派イクメン議員連盟とともに「イクメンサミット in 永田町」(2013年6月12日)を開催し、同議連と連名で田村厚生労働大臣及び森少子化担当大臣へ政策提言書(別添)を提出しました。また、FJ独自で提言する日本版「パパクオータ制」を当団体ホームページで公開しております。

そこで、男性の育児休業取得を促す取り組みについて貴党の見解をお伺いいたします。

質問	回答
1-1) 現行の育児・介護休業法を含め、現状の行政や施策、法制度でも十分だとお考えですか?	①十分 ②十分ではないが、現状で満足すべき ③多少改善すべき ④大きな課題だと考えている
1-2) 具体的な問題や課題、その原因は何でしょうか?	(自由記述)
1-3) 貴党がお持ちの政策をより具体的に数値や時期などの「定量」を含めてご開示ください。そのとき、パパクオータ制の日本における実現への見解をあわせて言及ください。	(自由記述)
1-4) 貴党の政策を7月参院選公約・マニフェストなどとして国民に「確約」いたしますか?	①確約する ②確約する方向で検討する ③確約できない

(課題2) 子育て世代の男性の働き方・長時間労働について

2013年6月25日に閣議決定された2013年度版「少子化社会対策白書」では、子育て世代の30代男性の約5人に1人が週60時間以上の労働をしていることや育児に係る時間は国際的な比較においても極めて低く（1日平均わずか39分）、長時間労働が育児参画の進まない一因であると指摘しており、子育て世代を含む男性の働き方の見直しが喫緊の課題です。EU（欧州連合）では、労働時間指令において、24時間につき最低連続11時間の休息期間を付与するなど、長時間労働の抑制に向けた抜本的な取り組みが行われているところですが、日本においても同様の施策が必要であると考えます。

そこで、男性の働き方の見直し、長時間労働の是正について貴党の見解をお伺いいたします。

質問	回答
1-1) 現状の行政や施策、法制度でも十分だとお考えですか？	①十分 ②十分ではないが、現状で満足すべき ③多少改善すべき ④大きな課題だと考えている
1-2) 具体的な問題は課題、その原因は何でしょうか？	(自由記述)
1-3) 貴党がお持ちの政策をより具体的に数値や時期などの「定量」を含めてご開示ください。	(自由記述)
1-4) 貴党の政策を7月参院選公約・マニフェストなどとして国民に「確約」いたしますか？	①確約する ②確約する方向で検討する ③確約できない

<添付資料> NPO 法人ファザーリング・ジャパンについて

【ビジョン】

「父親になったら、仕事も育児も両立しながら楽しんで生きていきたい」。そうした「Fathering=父親であることを楽しもう」という意識をもった若い世代の男性たちが、いま確実に増えています。

しかし日本の職場や社会の意識は旧態依然のまま。長時間労働を強いる会社と、子育てにもっと関わってほしいと願う妻のプレッシャーに挟まれ、「ワーク・ライフ・バランス」に苦しんでいるのは、そうした子育て世代の父親たちかもしれません。

カナダでは「父親支援」が政府プロジェクトとして推進され、いまやほとんどの企業は男性の出産・育児休暇を認めています。また「家庭での役割を担っている男性社員ほど、労働者としての生産性も高い」という共通認識があります。

さらに、欧米の有力企業は成長性を高める要因のひとつとして、「社員の生活との共生」を掲げ、経営戦略として「ワーク・ライフ・プログラム」の充実を図り、子育て世代（中核社員）の優秀な人材の確保・流出防止に努めています。

日本の企業も、そこに勤める父親たちが解放、啓発され精神的に成長・自立し、家庭や地域に積極的にコミットするようになれば、社会も大きく変わっていくのではないのでしょうか？

子どもを大切にできる社会は、母親たちのストレスを減少させ、子どもたちに安心と笑顔をもたらします。そして中・長期的にみれば、進む少子化にブレーキがかかったり、大きな社会不安となっている、子どもや女性を取り巻くさまざまな問題・犯罪事件の減少につながっていくのではないかと、私たちは考えます。

Fathering Japan は、父親支援事業による「Fathering」の理解・浸透こそが、「よい父親」ではなく「笑っている父親」を増やし、ひいてはそれが働き方の見直し、企業の意識改革、社会不安の解消、次世代の育成に繋がり、10年後・20年後の日本社会に大きな変革をもたらすということを信じ、これを目的としてさまざまな事業を展開していく、ソーシャル・ビジネス・プロジェクトです。

【組織概要】

- ・団体名称：特定非営利法人（NPO 法人） ファザーリング・ジャパン
- ・設立：2006年11月 団体発足、2007年4月 法人設立
- ・代表理事 吉田 大樹
- ・連絡先：住所 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-1-18-301
- ・Tel 03-6902-1694
- ・Fax 03-6902-1695
- ・Email info@fathering.jp
- ・HP <http://www.fathering.jp/>